



池袋図書館 月刊情報誌

ふくろう通信

2018年9月号

9月

日	月	火	水	木	金	土
						1 ☀️
2	3	4	5 😊	6	7	8 🎵
9	10	11	12 🎵	13	14	15 ☀️
16 🎵	17	18	19	20	21	22 ☀️
23	24	25	26	27	28	29 🎵
30						

10月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3 😊	4	5	6 ☀️
7	8	9	10	11	12	13 🎵
14	15	16	17	18	19	20 ☀️
21 🎵	22	23	24	25	26	27 🎵
28	29	30	31			

- ☀️ マークのついている日はたんぽぽおはなしかいです。(午後2:30から2階ワークルームにて)
- 😊 マークのついている日はあかちゃんおはなしかいです。(午前11:00から2階ワークルームにて)
- 🎵 マークのついている日は工作会・スペシャルイベントがあります。(詳細は、次のページへ)

豊島区立池袋図書館

〒171-0014 豊島区池袋3-29-10

☎03-3985-7981

●開館時間●

平日 午前9:00～午後8:00

土・日・祝日 午前9:00～午後6:00

●休館日● (第1月曜日・第4金曜日・年末年始・特別館内整理日)

【9月】3日(月) 28日(金)

【10月】1日(月) 26日(金)



今月のめだま



今月の池袋図書館でのおすすめの催し物のご案内です！
お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。

【一般】

読みきかせ講座

9月12日(水) 10:30~12:00


おはなし会をやってみませんか？

読みきかせ講座

～おはなし会をやってみませんか？～

読書の秋に向けて、実際に、子どもたちの前で絵本を読む練習をしましょう。
「これからの季節におすすめの絵本」や「池袋図書館の最新刊」をご紹介します。
ぜひ、ご参加ください。

日時: 9月12日(水) 午前10時半から12時まで
会場: 池袋第三区民集會室
対象: よみかきせに 興味をお持ちの方
参加費無料 申込不要、当日参加も可(お申し込みください)。
*読みかきせに使用したい絵本がある方は、ぜひお持ちください。
お問い合わせ: 豊島区立池袋図書館 ☎ 03-3985-7981



申込不要 池袋第三区民集會室

【一般】

終活講座

すてきな老後のすごし方

① 9月16日(日) 14:30~15:30
「相続とは何か？」(基礎編)

② 10月21日(日) 14:30~16:00
「相続とは何か？」(基礎編)復習・「遺言書の書き方」

池袋図書館 終活講座
～すてきな老後のすごし方～

第1回 9月16日(日) 14:30~15:30
「相続とは何か？」(基礎編)

第2回 10月21日(日) 14:30~16:00
「遺言書の書き方」(基礎編の復習)

※参加費無料
※申込不要(当日参加も可)

会場: 池袋第三区民集會室 (池袋図書館併設)
定員: 20名 申込: 豊島区民会
9月1日(土) 10時より池袋図書館へ



申込制: 定員 20名 池袋第三区民集會室


【児童】

たんぼぼこうさく会

9月8日(土) 14:30~15:30

だいすきなひとへおくる
ポップアップカードをつくろう！

たんぼぼ こうさくかい



にちじ 9かつ8にち とうようび
2じ30なん から 3じ30なん
ぼしよ 2かい7ーグループ

= おかあさんプレゼント =

いけぶくろとじょかん
03-3985-7486

申込不要 2階ワークルーム

【児童】

よんでみよう！やってみよう！

かがくのほん！

9月29日(土) 14:30~15:30

あきばこをつかって、
みんなでがっきをつくってみよう！

よんでみよう！
やってみよう！
かがくのほん！

「こんがりほ、音のひみつに せまじです。」
あきばこをつかって、おんがく がっきをつくってみよう！

9月29日(土)
午後2時30分~3時30分

会場: 池袋第三区民集會室
定員: 20名(先着順)
対象: 小学生(参加費無料)
いけぶくろとじょかん 03-3985-7981

申込不要 池袋第三区民集會室

ふくろう博士の今月の調べてみよう！



今月のテーマ【祭】



毎年この時期になると、池袋には「ふくろ祭り」というお祭りがありますね！

今年は9月22日・23日、10月6日・7日に開催されます。

「ふくろ祭り」の他にも、日本を含め世界にはたくさんのお祭りがあります。

世界中で様々な人々に愛されているお祭りですが…そもそも、「祭」ってなんでしょう？

改めて「祭」について知るために、日本や世界のお祭りを紐解いてみませんか。

1. 「祭」の起源について知ろう —「祭」とは何か—

(一般)・『ゼロから始める神社と祭り入門』 三橋健/監修 KADOKAWA 【175 セ】

・『いま、知っておきたい神さま神社祭祀』 西高辻信良/著 主婦の友社 【170 ニ】

・『面白いほどよくわかる神事・仏事のしきたり』 渋谷申博/著 日本文芸社 【176 シ】

(児童)・『町とくらしのうつりかわり3 祭りと行事、昔と今』 吉田和義/著 小峰書店 【X 21】

・『神社とお寺がわかる事典』 井上智勝/監修 PHP研究所 【175】

2. 日本の「祭」について知ろう —国内の様々な「祭」—

(一般)・『祭りの事典』 佐藤和彦・保田博通/編 東京堂出版 【R 386 マ】

・『日本の祭り』 小川秀一/写真他 パイインターナショナル 【386 ニ】

・『日本の奇祭』 合田一道/著 青弓社 【386 コ】

(児童)・『日本の祭り大図鑑』 芳賀日向/監修 PHP研究所 【386】

・『ながさきくんち』 太田大八/作 童心社 【XE オ材】

3. 外国の「祭」について知ろう —各国それぞれの「祭」—

(一般)・『アジアの奇祭』 さの昭/文 石川武志/写真 青弓社 【2階特色A 386 サ】

・『ヨーロッパの祭りたち』 浜本隆志・柏木治/編著 明石書店 【386 ハ】

・『アンデスの祭り』 すずきともこ/著 千早書房 【296.8 ス】

(児童)・『さがしてみつけてなんじゃこりゃ！まつり』

西山雅子/文 中垣ゆたか/絵 芳賀日向/監修 ひさかたチャイルド 【798】

・『世界のお祭り』 竹永絵里/画 河出書房新社 【386】

*お探しの場合は、図書館スタッフまでお申し付けください。

【折る、包む、結ぶ】

暑さも少しずつやわらぎ始める9月。秋はまだまだ先ですが、旧暦の9月は「長月」と呼ばれ、夜が長くなる「夜長月よながつき」が由来とされています。もちろん一番夜が長くなるのは「冬至」ですが、「読書の秋」のように、何かを行うには良い季節と言われていました。

そんな秋の中でも「行楽の秋」に向けて、風呂敷で包みにくい物を包んだり、ロープでササッと結んだり、きれいにラッピングしてみたり、少しだけ人に自慢できる役立つ技を身につけてみるというのはいかがでしょうか？

『くらしを楽しむ結びのいろは』 結びのいろは研究会／編 誠文堂新光社 【383 ク】

『ふろしきの包み方』 森田知都子／著 淡交社 【385 モ】

『和を楽しむ・和を贈るふろしき包み』 雄鷄社 【385 ワ】

『日本の造形 折る、包む』 荒木真喜雄／著 淡交社 【385 ア】

『懐紙で包む、まごころを贈る』 長田なお／著 淡交社 【385 オ】

『暮らしを楽しむ包みかた、結びかた便利帳』

こものちほ／監修 雨宮有美子／監修 PHP研究所 【385 ク】

『こんなときこんな結び方』 羽根田治／文 久保田鉄／絵 山と溪谷社 【786 ヤ】

きょうか しょ ぼん よ

教科書本を読もう！

『さんねん峠』 李錦玉／作 朴民宣／絵

—3年生 国語 掲載—

日本の隣の国、朝鮮のむかしはなしです。

「さんねん峠」という、春は花、秋は紅葉や白すすきの美しいながめの峠にある、そこどころごと三年きりしか生きられないというおそろしいいつたえがあり……わざわいを知恵で福に転じさせるおはなしです。

おはなしもていねいに描かれた朝鮮の農村の風景も、どこか身近でなじみ深く感じられる作品ですが、実は絵本には、教科書には書かれていなかった種明かしが。気になる方は、教科書と読み比べてみても面白いかもしれません。

指定管理者：(株) 図書館流通センター